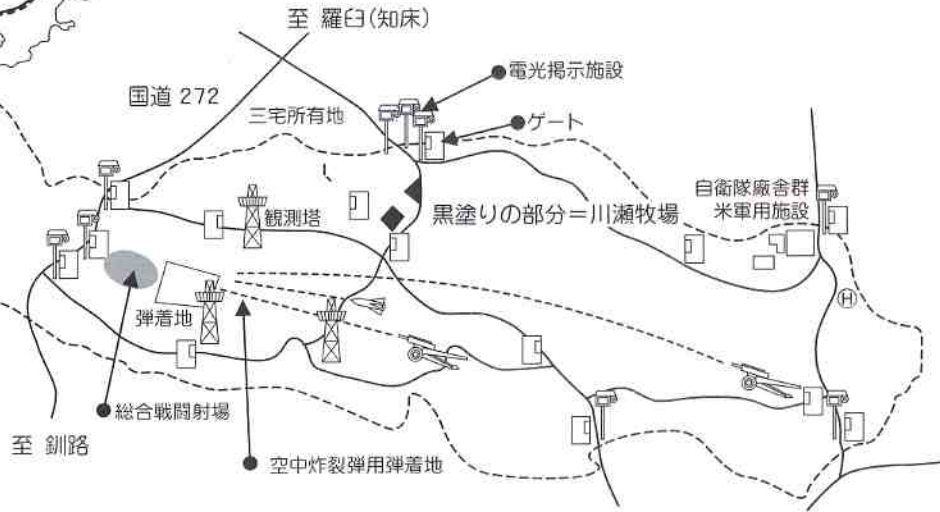


冬の川瀬牧場



会場は
演習場の
どまん中。



ご案内

- 国道272号線からお入りください。陸橋入り口に幟や看板を立てます。(近道して迷う方がいます。)
 - 夜は冷えます。セーター類をご用意ください。
 - 仮設の宿泊施設があります。ご希望の方には貸しふとんをお取次ぎします。(1組1500円。予約が必要。)
 - 前夜祭(6日)の夕食はバーベキュー交流。大会当日(7日)、会場内に夜店があります。8日朝食は500円で提供します(前夜、受付で予約。)
 - キャンプ場は広く取ってありますが、テントの用意はできません。肉・野菜・木炭などお世話できます。(地元商店から実費で。事前にお申し込みください。)
 - 夜店のお申し込みは、8月5日までにお申し込みください。場所と電気用意します。
- 道東勤医協さんのご厚意で
臨時診療所を設けています。

在沖縄米海兵隊移転訓練、引き続き 中部方面隊転地訓練

寒さの夏をたたかいながら 熱い思いで平和盆おどいを準備しています

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練(5月19日～6月15日、430人、車両100台、155mm榴弾砲12門)は、情報規制の下、多くの白燐弾を含む1556発を撃ち、小火器射撃、夜間訓練を強行。7回に及ぶ山火事を起こし、「口てい疫」の感染におびえる酪農民の申し入れを無視して「外出」するなど、横暴の限りを尽くしました。その間、ストーブを燃やしたテントを岩に矢臼別現地住民は周辺の仲間に支えられながら、

果敢に監視、抗議、告発を行い、多くの前進をかちとりました。

続く6月21日～8月8日は、陸自第14旅団を基幹に2700名、700両の車両、火砲10門、戦車7両が海自・空自と連携、大機動演習を実施しつつ、矢臼別に集結します。「三人寄りば行動」をモットーとする現地は、元気に立ち向かっています。

「このたたかひの向こうに第46回矢臼別平和盆おどりがある」それが現地の支えです。全道・全国のみなさん、この夏も矢臼別にお集まりください。沖縄の仲間もやってきます。



お～い
設営隊においで!!

8月4日 午後2:00 設営本部開設
○5日以降9:30ミーティング 10:00作業開始
○会場づくりの山場は5日・6日

矢臼別演習場内の川瀬牧場

【別海】反戦地主として知られた別海町矢臼別の川瀬沼二さんが昨年4月に82歳で亡くなり、陸上自衛隊矢臼別演習場(別海町など3町)内に残る川瀬牧場は主を失ったが、今も浦舟三郎さん(72)と渡辺佐知子さん(45)とその遺志を継いで住み続けている。浦さんは貨物船の船員として釧路に來た際、反戦活動に興味を

遺志継ぎ2人が生活

浦さんと渡辺さん

米海兵隊訓練を監視

【別海】反戦地主として知られた別海町矢臼別の川瀬沼二さんが昨年4月に82歳で亡くなり、陸上自衛隊矢臼別演習場(別海町など3町)内に残る川瀬牧場は主を失ったが、今も浦舟三郎さん(72)と渡辺佐知子さん(45)とその遺志を継いで住み続けている。浦さんは貨物船の船員として釧路に來た際、反戦活動に興味を

浦さんから学んだ」と言い、「反戦が先にあるのではなく、人間らしい本来の生き方、自分の暮らしを大切にしようと思ったとき、結果的に反戦になった」と話す。



遺族が思いをこめて、碑を建立しました。どうぞ沼二さんと会いにおいでください。



(建立 三宅 信一 制作 辻 弘)